



行政報告

市議会9月定例会が8月30日に召集され、小畑市長が行政報告を行いました。その中から、主なものの要旨をお知らせします。

8月1日から本格稼働

7月7日から5日間、大館クリーンセンターの性能試験が実施され、その結果、ごみ処理能力や排ガス濃度などの9項目すべてで計画に適合していると認められたことから、8月1日から本格稼働しています。

試運転の開始直後は、合併やごみ分別内容の変更などが重なったこともあり、一時、ごみ運搬車が渋滞するなど、皆さんには大変ご心配をおかけしましたが、7月中旬からは、ごみの質・量ともに安定

大館クリーンセンター

定し、運転も順調に推移しています。特にお盆明け後は、例年、最もごみ排出量の多い時期であり、これまではその対応に苦慮していましたが、今年はクリーンセンターの稼働により大きな混乱もなく処理が続けられています。

今後とも、大館クリーンセンター周辺の環境には十分配慮するとともに、安心で安全な運転に万全を期すよう指導していきます。

インフラ整備に努力します

新市となつてからの企業の設備投資状況及び立地状況を報告します。

地元企業の東光鉄工株式会社は、本宮字上八野地内の同社本宮工場用地内に、橋脚や建築物等の耐震補強製品と免震・制震製品を製造する「TMS事業部工場」

企業の設備投資状況と立地状況

を建設し、7月1日から操業を開始しました。設備投資額は約1億6,000万円、操業開始時の新規雇用従業員は8人で、将来さらに12人の新規雇用を計画しています。

同じく地元企業の株式会社伊徳は、弁

当や総菜などを製造しているデリカ工場を、市営二井田工業団地へ移転新築する予定で、9月13日に竣工式を行う予定です。設備投資額は約6億3,000万円。操業開始時には、従業員28人、パート15人の計43人を、将来さらに従業員12人、パート15人の計27人を新規雇用する計画です。また、ニプロ株式会社大館工場では、県営大館工業団地内の同社用地に工場を増設中で、年内の完成を目指しています。設備投資額は約50億円で、さらに同社は、既設工場内への製造ライン増設の計画も示していて、合わせると平成18年度までに段階的に60人を新規雇用し、最終的には90人の雇用を見込んでいます。ニプロ株式会社からは、「大館の工場は、当社における『世界の拠点工場』として位置付けている」とのお話を伺っています。

旧正札竹村駐車場では使用されておらず アスベスト対策



旧正札竹村駐車場

発ガン性が問題となつている「アスベスト」の調査を、市でも実施しています。心配されていた旧正札竹村駐車場の、検査の結果、アスベストは使用されていないということでした。

市の施設では、技術職員を中心にして

さらに、ニプロファーマ株式会社大館工場では、県営大館第二工業団地内の同社用地に医薬品工場3棟を増設する計画で、7月から順次着工し、2年後の本格稼働を目指しています。設備投資額は100億円で、新規雇用者は65人の予定です。同社では、既設工場内でのラインの増設も行っていて、来春の新高卒者65人の求人票を、ハローワーク大館に提出しています。

本市としましては、ニプログループを含めた誘致企業はもろろんのこと、地場企業におきましては、「大館市工場等設置促進条例」に基づくバックアップを行うとともに、企業活動をよりスムーズに行うことが出来るよう、今後ともインフラ整備など多方面にわたり努力していきたいと考えています。

月額1万円を支給

県が、子育てに係る経済的支援策の見直しを行ったことに伴い、本市でも、8月1日から関連する事業の見直し措置を

子育て支援策の見直し

目視による調査を終えています。その結果、8施設で緊急を要しないと思われるものの、専門家による検査を受けた方が良いと考えられる箇所があり、本定例会に検査に伴う補正予算を提出しています。また、不特定多数の人が出入りする民間の耐火建築物のうち、県の調査の対象外となるものも、疑わしいものは、補助金を交付して検査を促したいと考えています。現在、担当課で交付要綱の作成を進めているところです。

実施しています。

見直しの第1点目は、乳幼児福祉医療制度で、0歳児及び市町村民税非課税世